

平成26年度 水生生物による水質測定の結果

●：特に多く確認された（2点）、○：確認された（1点）

河川名	調査地点名	きれいな水							ややきれいな水							きたない水					とてもきたない水					判定 水質階級	判定 水質階級 (昨年度)								
		カワゲラ類	ヒラタカゲロウ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	アマカ類	ヨコエビ類	ヘビトンボ	ブユ類	サワガニ	ナミウズムシ	合計得点	コガ。タシマトビ。ケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	合計得点	ミズカマキリ	ミズムシ	タニシ類	シマイシビル			ニホシト。ロソコエ	イソコツフ。ムシ類	合計得点	ユスリカ類	チヨウバエ類	アメリカザリガニ	エラミミズ	サカマキガイ
千代川	用瀬	●	○	●				○		○	7										0						0						0	I	I
〃	佐貫	○	●	●							5										0						0						0	I	I
〃	袋河原	○	●	○	○		○			○	8	○	○	●							4	○			○		2	○				1	I	I	
〃	源太	○	●	○			○			●	8	○	○						○		3				○		1					0	I	I	
〃	行徳	○	●	●				○		○	7	○		○							2						0					0	I	I	
八東川	片山	○	●	●							5	○									1						0					0	I	I	
袋川	町屋		○	○		○	○		○	○	7	○		●			●	○			6				○		1				○	1	I	II	
〃	大杓	○	○				○	○		○	5			●				○			3				●	○	3	○			○	2	I	II	

※合計が同数の場合は、良い方を採用 「川の生きものを調べよう」テキストより

【水生生物調査とは】

河川の中にはさまざまな生物が生息していますが、川底に生息する生物(水生生物)は、過去から現在までのとても長い時間の水質状況を反映した結果でもあります。

したがって、河川の中にどのような生物が生息しているかを調べることによって、その地点の比較的長い期間の水質の状況を知ることができます。

水生生物調査は、誰にでも簡単に水質状況が判定できるので、多くの方々に参加していただき、河川と親しみながら、河川の水質状況を把握することを目的としています。



水生生物調査の事前説明



水生生物の採取



水生生物の採取



水生生物の同定

川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

I きれいな水

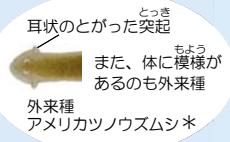


×5

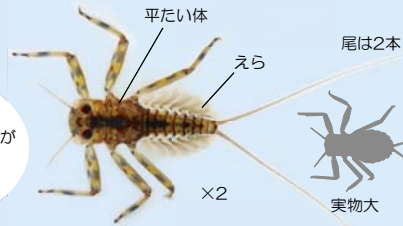
実物大

ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある



耳状のとがった突起
また、体に模様があるのも外来種
外来種
アメリカンウズムシ



ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはりついている



実物大



実物大

カワゲラ類

体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる



×2.5 実物大

アミカ類

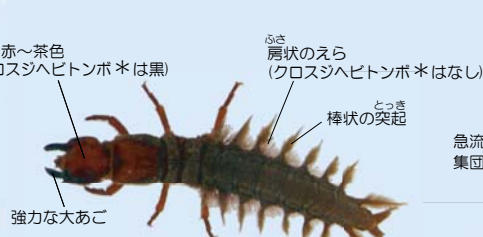
腹面に吸盤があり、急流の岩や石にはりついている



実物大

サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、同じ種類である



実物大

ヘビトンボ

流れの速い石の下にひそんでいて、えものおそう

ブコ類

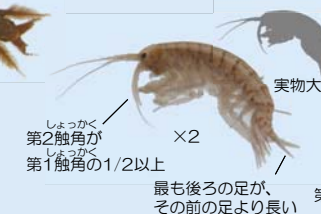
急流の岩や石に吸盤ではりついている
集団をつくり、石が黒く見えることもある



×5 実物大

ヨコエビ類

上流の石の下や水中にたまった落葉の間にいる



ヨコエビ類

上流の石の下や水中にたまった落葉の間にいる



×2 最も後ろの足が、その前の足より短い
外来種
フロリダミスヨコエビ



×3

実物大

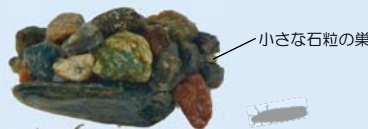


×3

実物大

ナガレトビケラ類

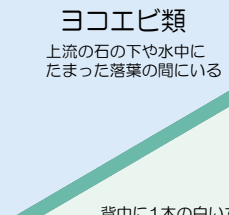
流れの速いところにいる



実物大

ヤマトビケラ類

流れの少しゆるやかなところの石面に多い



×2

チラカゲロウ

流れのやや速いところにいる

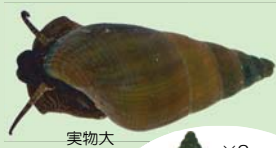


×1.5

タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる

II ややきれいな水

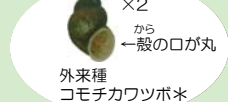


実物大

カワナナ類

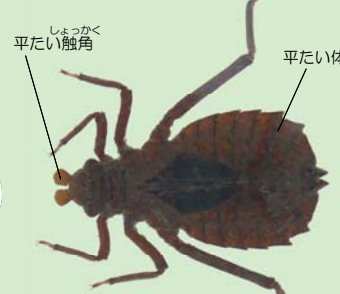
流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカツボキは数mmと小型

×0.5



×2 一般的に丸い口が丸
外来種
コモチカツボキ

×0.5 一般的にひし形の口



実物大

コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



×2

ヒラタドROMシ類

石の表面にはりついている



×1.5

ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶～黒色



×1.5

ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところの石面にいる



×3

実物大

コガタシマトビケラ類

頭部の前縁に浅い凹みがある



×2

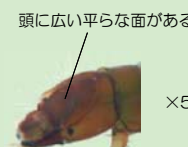
ゲンシボタル

流れが少しゆるやかなところにいる
カワナをえさとする



×2.5 前胸の模様が異なる
ゲンシボタル

ヘイケボタル



×5

オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。

